横須賀市自然・人文博物館付属
馬堀自然教育園／天神島臨海自然教育園・天神島ビジターセンター

自然教育園だより

Vol.5 No.1
(2012年春号)
2012年3月25日発行
横須賀市自然・人文博物館
046-824-3688

自然教育園の見どころを「天神島の自然誌」「馬堀の自然誌」として連載します！

馬堀自然教育園の自然誌 ①トウキョウサンショウウオ

馬堀自然教育園内には**トウキョウサンショウウオ**が生息しています。**トウキョウサンショウウオ**は、カエルやイモリなどと同じ両生類のなかまで、神奈川県内では三浦半島だけに生息しています。「サンショウウオ」というと、特別天然記念物で体長1mを超える**オオサンショウウオ**を連想する方が多いようですが、**トウキョウサンショウウオ**はずっと小型で、体長13㎝ほどの大きさにしかなりません。また、**トウキョウサンショウウオ**は普段は山の中のしめった場所で生活していて、卵から幼生の時代と産卵の時期以外は水の中に入らない点も、一生のほとんどを水中ですごす**オオサンショウウオ**とは異なっています。

トウキョウサンショウウオは、2月から3月にかけて産卵を行い、メスは1回に2個の卵のう（卵の入った袋）を産み、それぞれの卵のうには20～120個の卵が入っています。オスはメスが産んだ卵に精子をかけて体外受精を行い、受精した卵の入った卵のうはやがてバナナのような形にふくらみます。受精から2～3週間で、オタマジャクシのような幼生が卵のうから出てきます。この時の幼生は頭部の両側にえらがありますが、数か月後にはえらがなくなって親と同じ姿に変わり、上陸して山の中の生活をするようになります。4年ほど後に成長して親となり、産卵に訪れるまで水の中に戻ってくることはありません。（萩原　記）

トウキョウサンショウウオ

トウキョウサンショウウオの卵のう

トウキョウサンショウウオの幼生

本館特別展示「三浦半島の干潟」

2012年1月28日から特別展示「三浦半島の干潟」が本館特別展示室において開催されています。この特別展示は20年にわたる干潟調査によって得られた標本や画像・映像を中心とした展示です。内容は①干潟の概要と機能、②干潟の堆積物、③干潟の植物、④三浦半島の干潟の現況、⑤九州・琉球列島の干潟、⑥ミニシアター「干潟の生き物」などで構成されています。また、図鑑としても利用できる展示解説書「干潟の生き物」（A6判32ページ、￥350）を発行し、本館および天神島ビジターセンターで販売しています。

会期は、2012年6月10日まで延長します。

干潟の生き物を標本で展示

干潟の堆積物

コメツキガニ

チュウシャクシギ

関連行事

展示解説と講座「干潟の自然入門」
5月19日(土) 10:00－12:00
本館特別展示室、第1学習室
申し込み不要、先着40名

展示解説書
「干潟の生き物」

自然教育園での出来事（2011年11月～2012年2月）

馬堀自然教育園

11月2日 キジバト (a)。ヤマアカガエルの幼体と鳴き声 (b)。タマサンゴの実が赤く熟す。ゴマダラカミキリ (a)。ヒヨドリ 10 羽以上 (a)。アサギマダラ (c)。3 日 ヤツデの花の咲き始め。観察路にヒバカリ。センリョウ。サケツバタケ。4 日 キセキレイ (b)。5 日 ハゼノキが紅葉。赤いシロダモの実。シロハラの鳴き声。カントウヨメナ。ノコンギク。ホシホウジャクがタイアザミの蜜を吸っていた。オオハナワラビ。ハナオチバタケ。ニガクリタケ。8 日 トゲナナフシ (e)。10 日 コサギ (a)。12 日 オンブバッタ (a)。足とハサミがないモクズガニ (a)。13 日 ハラビロカマキリ (a)。15 日 マテバシイの実を食べるタイワンリス (d)。キミノセンリョウの実。ツワブキの花。メジロがヒサカキの実を食べていた。クロヤツシロランの果実。ナンテンの実。17 日 ヒナカマキリ (b)。18 日 コゲラ、シジョウカラ (b)。20 日 ヤブコウジの実が赤くなっていた。アカスジキンカメムシの幼虫 (e)。22 日 カネタタキ (♀) (a)。23 日 アズマヒキガエル (b)。25 日 アオジ (♀) (a)。テイカカズラの種子が観察路に落ちていた。オオハナワラビの胞子が熟していた。観察路でケバエ類の幼虫大量発生。30 日 カワラヒワ (a)。ヒラタケ (e)。イロハモミジが紅葉 (a)。マンリョウの実が赤くなった。

12月3日 ヤマナメクジ。7 日 タイワンリス 2 匹がカラスの仲間に追いかけられていた (d)。9 日 シロハラ (a)。10 日 スイセンが咲いていた。ヒナカマキリ (b)。11 日 ツマグロオオヨコバイ (b)。学習棟でニホンヤモリ。18 日 トベラの実が熟す。ヤブツバキの花が開花。ヒラタケ。20 日 ウラギンシジミ (c)。キジバト 2 匹 (c)。21 日 ビナンカズラが熟す (b)。28 日 死んだオオキンカメムシ (c)。

1月5日 シロハラ、コゲラ、スズメ、シジュウカラ、メジロ (a)。7 日 カワラヒワ (a)、アオジ (b)、ウグイス (c)。10 日 キジバト (d)。17 日 メジロとシジュウカラの混群 (b)。18 日 タイワンリス (d)。19 日 キジバト (b)。21 日 アカハラ、ジョウビタキ (♀) (a)。22 日 サワガニ (b)。26 日 フウトウカズラの実が熟す。ヒヨドリ、ハシブトガラス、ハシボソガラス、トビ。27 日 斜面に霜、園路に霜柱。

2月3日 上の池と下の池に薄い氷 (b, c)。シロハラ、メジロ、スズメ、トビ、ハシボソガラス、ヒヨドリ。ウグイス、ハシブトガラス、コゲラ、シジュウカラの声。4 日 キジバト (c)。9 日 タイワンリスの声 (d)。10 日 ニホンヤモリの死体 (b)。14 日 トウキョウサンショウウオの卵のうが 6 腹 (c)。18 日 ウメの花が 1 つ開いた。コハコベが咲いていた (a)。ヒヨドリがフウトウカズラの実を食べていた (a)。21 日 フキのとう (a)。24 日 イヌビワにメジロがいた (a)。コハコベ、オオイヌノフグリが咲いていた (a)。28 日 ハシボソガラスがマテバシイの実をついばんでいた。ハクセキレイ、ツグミの声。

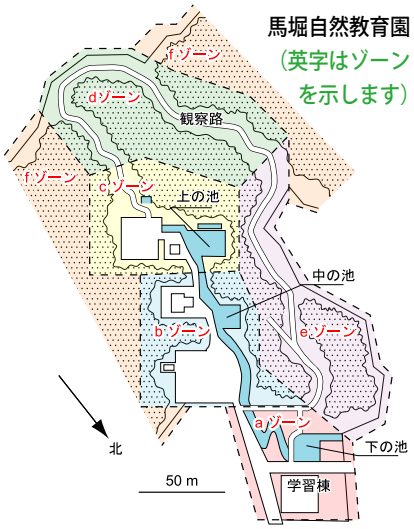
サケツバタケ（11/3）

ヒバカリ（11/3）

ノコンギク（11/5）

ハナオチバタケ（11/3）

オオハナワラビ
（11/3）



コサギ（11/10）

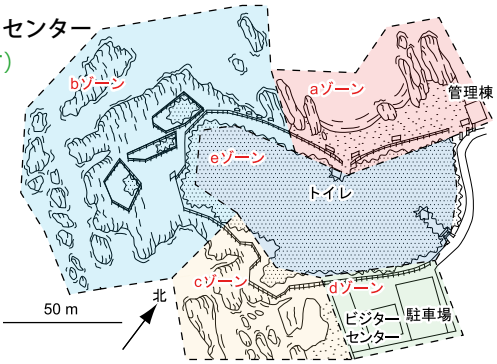
キミノセンリョウ（11/15）

ヒラタケ（12/18）

オオキンカメムシのメス（12/28）

天神島臨海自然教育園

天神島臨海自然教育園およびビジターセンター
（英字はゾーンを示します）



11月4日 アオジの声を確認 (e)。5日 シロハラ、ゴイサギ4羽 (e)。タヒバリ2羽 (b)。ハヤブサのメス成鳥が笠島に降りた。6日 ハラビロカマキリのメス (a)。10日 潮だまりのコトヒキの群れの中にオヤビッチャの幼魚。シマスズメダイの幼魚 (b)。11日 コサギ (c)。12日 ウミアイサ2羽。チョウチョウウオの幼魚 (b)。17日 ツワブキの花 (e)。ハマウドの葉の上にウラナミシジミ (c)。18日 キヅタ、オオバグミの花が満開 (e)。笠島にミサゴ。19日 強風波浪大雨警報が発令。20日 タコノマクラ、モミジガイ、アサガオガイの卵塊が打ちあがった (a)。カワウ約1000羽の群れが飛来。クロサギ5羽を笠島と天神島で確認 (b)。24日 カゴカキダイ、シマスズメダイ、ギンユゴイの幼魚 (b)。26日 アオサギが魚を捕らえて食べていた (c)。27日 ウミスズメ2羽。ウミウ3羽 (b)。

12月1日 イソヒヨドリのオスがカワセミとイソシギを追い払った (c)。2日 ヒメウ1羽を確認 (b)。3日 カワウ約50羽、ダイサギ5羽、コサギ約50羽。ツグミの声を確認 (e)。4日南アルプスまで見える快晴。観察会でウミアイサ、ウミスズメ、クロサギ、ミサゴなど出現。8日 アカハラを確認 (e)。ウミウ5羽 (b)。11日 ゴイサギ1羽 (e)。16日 天神島と笠島の間にカンムリカイツブリ。マガモのオス4羽 (b)。上空にセグロカモメ2羽。24日 カワウ数羽が繁殖羽に。

1月6日 外傷のないタヌキの死体 (a)。クロサギ (a)。7日 小雪がちらつく。マガモのオス2羽がアオサ類を食べていた。コサギが餌を探していた (c)。メジロがツルオオバマサキの実を食べていた。キイロダカラの貝殻が多数打ちあがっていた。スイセンの花 (a)。14日 アカハラ、シロハラ、ウグイス (e)。左羽が傷ついたウミネコ (a)。アメフラシ、タツナミガイ、クロシマホンヤドカリ、イソガニ、イトマキヒトデ、マナマコ (b)。15日 アオサギがトビを追い払った (b)。21日 笠島にウミネコ約1000羽。セグロカモメがオオセグロカモメの群れに混ざっていた。22日 キョウジョシギ9羽 (b)。イソヒヨドリのオス2羽が島の北東と南になわばりを持っていることが判明 (a, c)。26日 潮だまりに薄い氷。繁殖羽になったウミウ2羽。カワセミ1羽 (b)。28日 ノスリ1羽がトビとハシブトガラスに攻撃され飛び去った。ハヤブサが飛来した。スイ、アゴハゼ、クモハゼ、クモガタウミウシ、アズキウミウシ、コノハミドリガイ、ホシゾラホンヤドカリ (b)。

2月3日 ツグミ (d)。5日 ゴイサギの成鳥と幼鳥が争っていた (e)。ヒヨドリがハマダイコンの葉を食べていた (c)。9日 アラメ、カジメが打ち上がっていた (a)。ブドウガイが多数 (b)。10日 シメ2羽 (e)。11日 アメフラシ、アマクサアメフラシ、タツナミガイ、サガミミノウミウシ、ムカデミノウミウシ (b)。12日 笠島にコサギ150羽の群れ。16日 トビが木の枝を運んでいた (e)。ハクセキレイのオスがタヒバリを追い払った (b)。17日 イソシギの求愛行動 (b)。24日 カルガモ、カワセミ、ハクセキレイ、タヒバリ (c)。26日 ハシボソガラスが求愛給餌。潮だまりでヒメクロモウミウシ (b)。29日 雪が5cm積もった。

ツワブキ（11/17）

ウラナミシジミ（11/17）

キヅタ（11/18）

アサガオガイの卵塊（11/20）

ヒメウ（12/2）

キョウジョシギ（1/22）

ハヤブサ（1/28）

アマクサアメフラシ（2/11）

サガミミノウミウシ（2/11）

博物館行事レポート

天神島めぐり「天神島の地層」
(2011 年 12 月 11 日・参加者 4 名)

この日は快晴で、伊豆半島や箱根、富士山、丹沢山地、南アルプスまで見渡すことができました。天神島の西側にある相模湾には、フィリピン海プレートと北米プレートの境界があります。フィリピン海プレートは年間 4cm の速さで西南日本の下側に沈み込んでおり、天神島の地層もこのプレートの動きに影響を受けて作られました。このような天神島を含む三浦半島のダイナミックな姿を紹介し、続いて天神島の地層をつくるスコリア凝灰岩や火山豆石、地層の食い違いである断層、ポットホール (小石が波の力によって回転し、岩を削って作った穴) などを観察しました。普段地層や地形を注意深く観察しない参加者も、三浦半島の地球科学について興味を深めるきっかけとなったようです。(柴田　記)

三浦半島の地質図を見ながら地層と活断層の説明を受ける参加者。

自然教育園イベント紹介

※申込方法を必ず博物館 HP や年間行事 (パンフレット) でご確認ください。

― 博　物　館　教　室 ―

1. 三浦半島の草花に親しむ：春夏編

三浦半島で春から夏に咲く身近な草花を観察します。**2012 年 5/19、6/2、6/16、6/30 (いずれも土曜日) の全 4 回。10:00 － 15:00。馬堀自然教育園、横須賀市野比、観音崎。対象は一般 20 名。野外保険料各回 1 人 50 円。締切り：5/4 (金)。**

2. 基礎から学ぼう昆虫学

昆虫の採集や観察の方法－多様な昆虫の解説と観察、昆虫標本の作り方、観音崎公園での虫探し、セミのぬけがら探しと発表会－を学びます。**2012 年 5/27、6/17、7/15、8/26 (いずれも日曜日) の全 4 回。10:00 － 15:00。博物館本館、中央公園、馬堀自然教育園、観音崎公園。対象は小・中学生 20 名 (ただし、小学生は保護者同伴のこと)。野外保険料各回 1 人 50 円。締め切り 5/12 (土)。**

― 自　然　観　察　会 ―

1. 海藻入門

三浦半島沿岸に生育する多種多様な海藻を観察し、海藻押し葉を作成します。**2012 年 4/21 (土) 10:00 － 15:00。天神島臨海自然教育園。対象は小学生以上 20 名 (だたし、小学生は保護者同伴のこと)。野外保険料 1 人 50 円。締め切り：4/7 (土)。**

2. ウミウシの観察会

鮮やかな体色と、さまざまな姿・形から「海の宝石」といわれるウミウシ類を中心に、初夏の天神島でくらす磯の生き物たちを観察します。**2012 年 6/3 (日) 9:30 － 12:00。天神島臨海自然教育園。対象は小学生以上 30 名 (ただし、小学生は保護者同伴のこと)。野外保険料 50 円。締め切り：5/19 (土)。**

3. ホタルの観察 [I・II]

馬堀自然教育園で、20 年以上にわたって保護および生息環境の整備に努めているゲンジボタルとヘイケボタルを、生息環境について学びながら観察します。**[I] 2012 年 6/16 日 (土)、[II] 2012 年 6/23 (土) いずれも 18:00 － 20:00 (いずれか一方のみに応募)。馬堀自然教育園。対象は小学生以上各 60 名 (ただし、小学生は保護者同伴のこと)。野外保険料 1 人 50 円。締め切り：いずれも 6/2 (土)。**

ー天　神　島　め　ぐ　りー

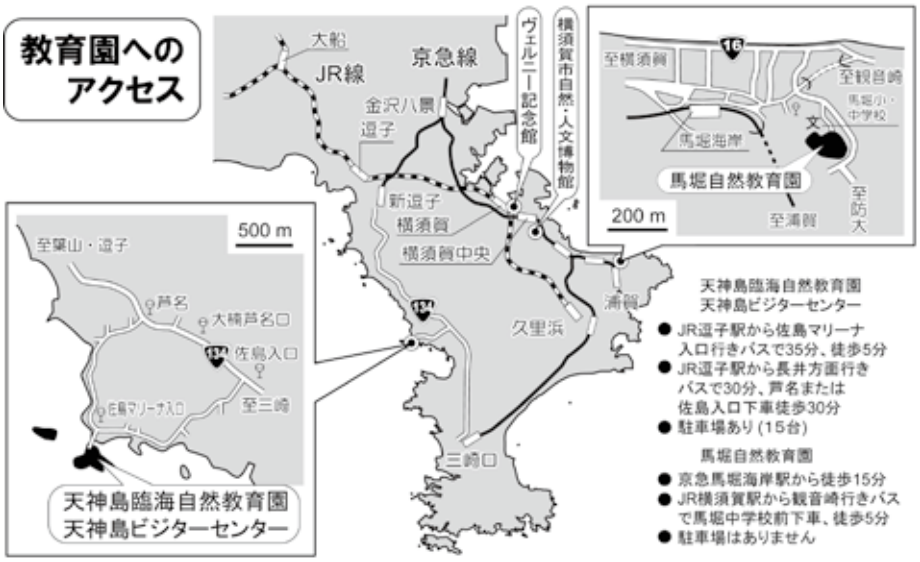
1. 春の渡り鳥

シギ、チドリなど春に天神島を訪れる渡り鳥を観察します。**2012 年 5/3 (木) 9:30-11:30。対象は一般 20 名 (ただし、小学生は保護者同伴のこと)。野外保険料 1 人 50 円。締め切り：4/27 (金)。**

ー天　神　島　ツ　ア　ー　ガ　イ　ドー

毎月第 4 日曜日に、天神島の季節に応じた見どころを紹介します。**4 ～ 9 月：10:00-11:00、10 月～ 3 月：13:00-14:00。開催当日教育園入口にお集まりください。申込不要、参加無料。**

横須賀市自然・人文博物館 付属自然教育園



馬堀自然教育園
〒 239-0802　横須賀市馬堀町 4-10-3
TEL 046-841-5727　(FAX 共用)

神奈川県指定名勝・天然記念物
天神島臨海自然教育園
天神島ビジターセンター
〒 240-0103　横須賀市佐島 3-7-3
TEL 046-856-0717　(FAX 共用)

博物館本館
〒 238-0016　横須賀市深田台 95
TEL 046-824-3688
FAX 046-824-3658

休館・休園日　月曜日 (祝日の場合は翌日。ただし 5 月 1 日 (火) は開館・開園し、5 月 8 日 (火) は休館・休園)・年末年始
開館・開園時間　9:00-17:00
(自然教育園　10 ～ 3 月は 16:30 まで)

博物館ホームページでも、「自然教育園だより」をご覧いただけます！
(http://www.museum.yokosuka.kanagawa.jp/)